

マディソン郡の橋

The Bridges of Madison County

鑑賞日：2016・4・11

製作 1995年 米 上映時間 135分
監督 クリント・イーストウッド
原作 ロバート・J・ウォラー
主演 クリント・イーストウッド、メリル・ストリープ

(あらすじ)

89年の冬。アイオワ州マディソン郡。フランチェスカ・ジョンソン（メリル・ストリープ）の葬儀を出すために集まった長男のマイケルと妹のキャロリンは、母の遺書に「死んだら火葬にしてもらいたい」とあるのに当惑する。二人は彼女らにあてた母の手紙と日記を読み始める……

65年秋、フランチェスカは結婚15年目で単調な生活を送っていた。夫のリチャード（ジム・ヘイニー）と二人の子供はイリノイ州の農産物品評会に出かけ、彼女は4日間、一人で家にいることになった。開放的になった彼女の前にプロ・カメラマンのロバート・キンケイド（クリント・イーストウッド）が現れ、道を尋ねた。彼は、珍しい屋根付きのローズマン橋の写真を撮りに来たのである。フランチェスカは彼の魅力に惹かれて、橋まで案内し、その夜の夕食を誘う。彼が宿に帰った後、「明日の晩もう一度いかが」と書いたメモを、明朝の撮影に彼が訪れる橋の上に貼った。翌晩、二人は打ち解け、ダンスを踊り、自然のなりゆきで結ばれた。次の日は、郊外でピクニックを楽しんだ。残り時間が僅かなことに気がついた二人はその夜、親密に抱き合った。最後の朝はぎこちなさと不安の中で迎えた。フランチェスカは「これはお遊びなの？」となじるとキンケイドは「一緒に来てくれ」と答えた。悩み苦しんだ末に、荷物をまとめた彼女だったが、再び家族を思うその姿を見て、彼は去った。

夫と子供たちが帰ると、元の日常の生活に戻った。数日後、夫と買い物に街に出かけた彼女は、降りしきる雨の中で、濡れて立ちつくすキンケイドの姿を見た。彼女は車から出ようとドアのノブに手がかかる……

(解説)

世界中でベストセラーとなったロバート・ジェームス・ウォラーの同名小説をもとに、僅か4日間の熟年男女の恋を情緒豊かに描いたラブロマンス映画である。クリント・イーストウッドが製作、監督、主演を務め、家族のために恋をあきらめる切ない思いを抱く主婦をメリル・ストリープが好演した。ストリープはアカデミー主演女優賞にノミネートされたが惜しくも賞を逸している。映画は原作の書かれた同じ場所で撮影され、美しい田園風景が、はかない4日間の恋を生かしている。本映画撮影時、イーストウッド65歳、ストリープ46歳であった。